

令和4年9月22日

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
(スタンダード・コード番号3358)
問合せ先 常務取締役 濱崎祐和
TEL 0947-32-7382

株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ

当社は、当社株主より、会社法第297条第1項の規定に基づき、臨時株主総会招集請求（以下「本請求」といいます。）を令和4年9月21日に受領しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 本請求をした株主
株式会社テクノバンク・サンケン
※総株主の議決権の100分の3以上の議決権を6か月前より引き続き有する株主です。
2. 本請求の内容
 - ① 株主総会の目的である事項
議案1 中井川俊一氏、本瀬建氏、濱崎祐和氏、中原真氏及び紙田拓弥氏を取締役から解任する件
議案2 取締役8名選任の件
 - ② 招集の理由
本請求を原文のまま別紙として添付しておりますので、ご参照ください。
3. 本請求に関する当社の見解について
本請求に対する当社の対応方針につきましては、本請求の内容を慎重に検討の上、決定次第開示いたします。

以 上

(別紙)

1. 株主総会の目的である事項

【決議事項】

議案① 中井川俊一氏、本瀬建氏、濱崎祐和氏、中原真氏及び紙田拓弥氏を取締役から解任する件

議案② 取締役8名選任の件

2. 招集の理由

新たな取締役会構成の下で当社の経営成績の飛躍的な向上による発展を目指すべく、請求人が、株主総会において、上記株主総会の目的である事項につき以下の議案を提出するため（取締役による招集（会社招集）となる場合には、請求人は、当社の代表取締役である緒方正憲殿に対し、以下を招集通知に記載又は記録することを請求する。）。

【議案の要領・提案の理由】

議案① 中井川俊一氏、本瀬建氏、濱崎祐和氏、中原真氏及び紙田拓弥氏を取締役から解任する件

当社は、1994年の創業から30年弱の歴史を有し、独自の品質力及び技術力を有して顧客及び取引先とも長期間良好な関係を築いてきました。そして、飲食店業界において高い信頼を得て、日本国内においては、九州地方のみならず四国地方、中国地方、関東地方に出店し、日本国外においては東アジア、東南アジア等に出店してビジネス展開を行うなど、その真の企業価値は高いものと評価することができます。しかるに、残念ながら、当社は、現状、これら歴史の中で築き上げてきた強みを、十分に活かすことができず、経営成績は低迷しています。すなわち、当社の最近の経営成績をみると、連結売上高は、2019年3月期が16億01百万円、2020年3月期が14億84百万円、2021年3月期が13億03百万円、2022年3月期が12億87百万円と減少の一途をたどっています。営業利益も、2019年3月期がマイナス71百万円、2020年3月期がマイナス1億15百万円、2021年3月期がマイナス94百万円、2022年3月期がマイナス46百万円と、4期を通じて一度もプラスに転じたことがない状況です。このように、当社の経営成績は悪いといわざるを得ません。

一般に、全ての上場会社が遵守すべきコーポレートガバナンス・コードにおいては、上場会社の取締役会・経営陣は、中期経営計画を株主に対するコミットメントの一つであるとの認識に立って策定・公表し、その実現に向けて最善の努力を行うべき役割・責務を負うことが求められています。特に、当社のように経営成績が低迷している会社の取締役会・経営陣は、経営成績の回復を図るべく、具体的な方策を検討し、実行に移して然るべき立場にあります。

しかしながら、当社は2022年6月30日時点で5億3597万7千円と十分な現預金を有しているにもかかわらず、これを従来の事業又は新規事業に投資するなどして事業収益に繋げることをしておりません。そればかりか、新型コロナウイルスの感染拡大が取り沙汰されるようになってから、既に2年以上が経過し、これまでの状況を踏まえた具体的な経営方針の策定が可能になっているにもかかわらず、なおも、中期経営計画を有しないまま、上記のように低迷した経営成績をどのように回復させ、かつ向上させるかについて、何らの具体的な方策も示しておりません。

当社がこのような状況に陥った要因は、現状、創業家代表取締役社長を除いた当社の経営陣に対するモニタリングが機能しておらず（創業家代表取締役社長に対する十分な情報共有がなされていないおそれがあることも指摘できます。）、その結果、そのような経営陣が株主利益を軽視し、具体的な事業計画を策定・公表することなく漫然と従来事業のオペレーションを続け、資本効率を意識した果敢な事業投資をしていないことにあると考えられます。

当社は、これ以上、経営成績の悪化を新型コロナウイルスのせいにして漫然と従来事業のオペレーションを続けるのではなく、明確な経営計画を策定・公表し、現預金を活用して、従来の事業を尊重しつつも、新たな挑戦（新商品の開発を含めた、新たな事業投資等やM&A）を開始して、事業収益の拡大を図るべきであります。当社の経営資源を有効活用せず、従来事業のオペレーションを行うのみで当社の企業価値を低迷させ続けている現取締役会・経営陣に、このまま当社の経営を委ね続けることは、当社の衰退を招くものであるといわざるを得ません。

以上より、現任の取締役のうち創業家出身の代表取締役社長として当社の事業に精通した緒方正憲氏を除いた中井川俊一氏、本瀬建氏、濱崎祐和氏、中原真氏及び紙田拓弥氏は、いずれも当社の取締役・経営陣として不適任でありますので、この5氏を取締役から解任することをお諮りするものであります。

議案② 取締役8名選任の件

当社の取締役会を刷新し、新たな経営体制の下で当社の経営成績の飛躍的な向上による発展を目指すため、各取締役の経験・知見・属性の多様性（ダイバーシティ）を確保するとともに、コーポレート・ガバナンスを一層強化するという観点から、新たに取締役8名の選任をお願いするものであります。

取締役の候補者は、次のとおりであります。

(1) 花岡 健一（はなおか けんいち）（生年月日 1978年5月9日）（新任）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1997年11月 株式会社万代 入社

2013年5月 株式会社アドバンス 入社

2018年1月 株式会社フルサイト 代表取締役（現任）

（重要な兼職の状況）

株式会社フルサイト代表取締役

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

花岡健一氏は食品事業において豊富な経験を有しており、また企業経営の経験も有していることから、当社の業務執行取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

(2) 中村 行男（なかむら ゆきお）（生年月日 1972年5月28日）（新任）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1996年6月 当社 入社

1999年7月 取締役営業部長

2002年6月 取締役営業本部長

2004年1月 取締役営業本部長兼営業支援部長

2004年7月 取締役営業本部長

2005年10月 取締役営業支援部長

2007年7月 取締役店舗品質管理部長

2009年7月 取締役直営事業部長兼エリア担当

2010年4月 取締役内部監査室長

2011年2月 取締役営業部長

2014年7月 取締役営業企画部長

2018年3月 取締役新規事業部長

2019年7月 執行役員（現任）

（重要な兼職の状況）

なし

（所有する当社の株式の数）

18,900株

【候補者とした理由など】

中村行男氏はこれまで当社において取締役として様々な役職に就き、当社の事業に精通し、現在も執行役員としての職にあることから、当社の業務執行取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

(3) 上田 正巳（うえだ まさみ）（生年月日 1965年1月8日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1988年3月 株式会社財界さっぽろ 入社

2000年5月 株式会社イー・カムツール設立 代表取締役就任（現任）

2005年3月 WEBOSS株式会社 取締役就任

2007年5月 イーカム・ワークス株式会社 取締役就任
2009年8月 イーカム・ワークス株式会社 代表取締役就任
2013年8月 株式会社ECS 代表取締役就任（現任）

（重要な兼職の状況）

株式会社イー・カムトゥルー代表取締役、株式会社ECS代表取締役
（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

上田正巳氏は、飲食店向けシステム開発やフランチャイズ本部支援事業、ECサイト企画運営等の事業経験を有し、また東京プロマーケット上場企業の代表取締役として経営に携わった経験があることから、当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

（4） 江川 麗子（えがわ れいこ）（生年月日1965年4月23日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1993年7月 有限会社エーアイティイー 設立 発起人
1999年6月 有限会社エーアイティイー 代表取締役就任（現任）
2010年11月 株式会社P&C 取締役就任（現任）
2016年10月 株式会社リートジャパン 代表取締役就任（現任）
2017年11月 株式会社SHU 代表取締役就任（現任）
2018年6月 株式会社山川ニューエナジー 代表取締役就任（現任）

（重要な兼職の状況）

有限会社エーアイティイー代表取締役、株式会社リートジャパン代表取締役、株式会社山川ニューエナジー代表取締役

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

江川麗子氏は飲食店、不動産事業、再生可能エネルギー関連等の企業を経営した経験を有していることから、当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

（5） 江本 克也（えもと かつや）（生年月日1959年10月30日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1982年4月 東洋紡株式会社 入社
1992年～1996年 ドイツ駐在
2019年10月 株式会社ティー・エヌ・シー 退社

（重要な兼職の状況）

なし

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

江本克也氏はこれまで大手化学企業において長年の勤務経験を有していることから、その経験を活かし当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

（6） 岩田 康裕（いわた やすひろ）（生年月日1957年7月8日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

1981年4月 日本エー・エム・ピー株式会社 入社
1990年1月 自動車事業本部アシスタントマネージャー（日産自動車グループ統括）
1992年4月 日本航空電子工業株式会社海外事業本部

1993年2月 米国 JAE 副社長
1994年7月 日本モレックス株式会社自動車事業本部副事業部長
2004年4月 インターナショナルレクティファイヤー・ジャパン自動車事業部長
2011年1月 個人事業 KEIEI 設立（トヨタ自動車・アイシン精機・デンソー等の調査担当）

（重要な兼職の状況）

個人事業 KEIEI

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

岩田康裕氏はこれまで電子部品メーカー等で勤務したほか米国企業において副社長を務める等様々な経験を有することから、当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

（7） 森井 じゅん（もりい じゅん）（生年月日 1980年3月3日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

2005年11月 Bonanza Casino 入社

2009年10月 尾台会計事務所 入所

2012年9月 デトロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー株式会社 入社

2013年8月 公認会計士登録

2014年1月 森井会計事務所開設 代表公認会計士・税理士（現任）

同 月 株式会社城南紙商 代表取締役（現任）

2016年4月 東京都品川区監査委員（現任）

2021年11月 THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社 社外監査役（現任）

（重要な兼職の状況）

森井会計事務所 代表公認会計士・税理士、株式会社城南紙商 代表取締役、

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社 社外監査役

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

森井じゅん氏は公認会計士としての経験を有し、会計実務に関する豊富な経験を有しており、当社の経営に対してもかかる知見からの助言が期待することができることから、当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、新たに選任をお願いするものであります。

（8） 渡辺 治（わたなべ おさむ）（生年月日 1987年3月29日）（新任・社外取締役候補者）

【略歴、地位及び重要な兼職の状況】

2009年3月 明治大学法学部卒業

2014年3月 中央大学法科大学院修了

2014年9月 司法試験合格

2015年12月 弁護士登録（東京弁護士会）

2016年1月 花王株式会社入社

2019年4月 OMM 法律事務所入所

2020年8月 新樹法律事務所入所（現任）

2021年6月 公認不正検査士資格認定

（重要な兼職の状況）

新樹法律事務所弁護士

（所有する当社の株式の数）

0株

【候補者とした理由など】

渡辺治氏は弁護士としての経験を有し、企業法務に係る実務に関する豊富な経験を有しており、当社の経営に対してもかかる知見からの助言が期待できることから、当社社外取締役としての職務を適切に遂行していただけると判断し、新たに選任をお願いするものであります。

以 上